

「物語編」の活動案 1 推測力と表現力を育てる活動

アクティビティの考案者：玉川大学教育学部 大谷千恵

所要時間：45 分

設定：国語学習

対象年齢：小学校 3 年生以上（質問などは、対象者の年齢などに合わせて調整してください）

人数：30-40 名

到達目標：

到達目標（授業中）

- ・ クラス内のランダムなグループで、活発に話し合うことができる。
- ・ グループ内の人と、物語についての知識を統合できる。
- ・ 物語のあらすじに沿って、カードを並び替えられる。
- ・ 物語のあらすじにそって、物語を発表できる。
- ・ グループで工夫した発表ができる。

長期の到達目標

- ・ 紹介された物語を図書館で確認したり、新しい物語を読むようになる。
- ・ 本を読んだ後に、あらすじを話せるようになる。
- ・ 同じグループだったクラスメイトと、休み時間などに話したり、遊んだりする姿が見られる（新しい人間関係ができる）。

下準備

「Group Me!物語編」を用意し、4 人、あるいは 5 人グループをつくります。

各グループの人数より 1 枚多くして、各種類のカードを用意します。

各種類から 1 枚ずつ取り、順番に重ねていきます（ランダムなグループができるように仕込む）。今回は、誰もがよく知っている物語を使用します（アイヌや沖縄のお話などは、子ども達にストーリーを推測させる活動にとっておいてください）。

カードを配布する時は、必ず、男子・女子のいずれから配ると、男女のバランスがよいグループができます。

授業例：

流れ	教師の指示	留意点など	時間
導入	あいさつ ＜グループづくりの説明＞ これから配るカードは、ある物語の一場面です。聞いたことのあるお話や有名なお話の場面が描かれています。 まず、自分と同じお話のカードを持っている人を見つけてください。グループは 4 人／5 人になります。 皆さんが持っているお話は、勇気や優しさ、努力や協力を教えてくれる物語です。ですから、今日はいつもよりも勇気や優しさを持ってグループ分けしてみましょう。 今日の勇気は、わからない時に、自分から「これ、何？」と聞く勇気です。優しさは、わからなくて困っている人を見つけたら、自分から「それは〇〇じゃない？」、「同じようなカードを〇〇が持っていたよ。」と声をかけてあげる優しさです。そうやって、みんなが少しだけ勇気と優しさを持って協力してください。	先にカードを配付してはいけません。子ども達は、カードに意識が行くので注意散漫のまま説明を聞くことになります。	10 分

	グループが見つかったら： グループの人が見つかったら、前の机からグループごとに座っていきます。後から座るグループのことも考えて、端から座っていきましょう。 早くにグループができたところは、① 1人1人のカードが、そのお話のどんな場面か話してください。 ② 足りない場面があれば、紙にその場面の絵を描いてください。 準備はいいかな？一番最後まで立っていたグループに、一番最初に発表してもらいますよ。 では、カードを配ります。	① と②は板書する。各テーブルに白紙を配付 カードの配付。 様子を見ながら、支援が必要な子どもにヒントをあげてサポート。	
展開	すべてのグループができましたね。 <課題の説明> はい、カードは机の上に置いて、顔はこちらに向けて。まだカードを見ていたり、お話している人がいたら、気づくまでじーっと見つめてみましょう。気づいたかな？はい、皆、こちらを見てね。 では、まず、お話の流れになるように、カードを並べてみてください。 カードの絵を使って、お話の流れができたら、話せるように準備します。まず、練習します。 <見本> 黒板を見てください。ここに 4 枚／5 枚のカードがありますね。これは、何のお話？ 子ども：○○ そう。○○のお話なので、順番は、こうかな？ あってる？違う？ じゃあ、こうかな？いい？ お話は、.....なります。 こんな風に、お話してもらいます。途中に、登場人物のセリフを入れてもいいですよ。風の音とか、聞こえてきそうな音をグループの人達で入れてもいいですよ。このお話らしく伝わるようにグループで工夫してみてください。 <作業>	机間指導しながら、各テーブルを確認。 子ども達に見本を見せる。 子ども達の表情を読みながら、カードの順番をわざと間違った順番にするなど、子ども達に作業と一緒に体験させておく。 カードの絵を見せながら、お話を再現させる。 机間指導しながら、各グループの物語のタイトルなどを確認。	10 分
	<発表> では、最後に着席したグループから発表してもらいます。○○さんのグループは、前に出てきてください。 まず、①何のお話か全員で言った後、 ②カードを見せながら発表してください。1人ずつ、各場面のお話をしてください。登場人物のセリフを入れてもいいし、聞こえてきそうな音を入れてもいいです。	① お話のタイトルは？ ② どんなお話？	15 分

	子ども達： お話のタイトルは「〇〇」です。 お話は.....です。 <褒める> 〇〇の部分、とても感じがでていましたね。大きな声で話せましたね。表業もあって、とても良かった！ etc. では、このカードと同じ物語のグループ、手を挙げてください。 君達の物語について教えてください？ 子ども達： お話のタイトルは「〇〇」です。 お話は.....です。 <褒める> 〇〇の部分、本当に登場人物みたいだったねえ。〇〇の音、迫力あったね。カードにない場面の絵も見えてくるようだったね ！ etc. (同様に、残りのグループの物語を確認する)	話の工夫や素敵などところを見つけて、必ず褒める。皆で拍手をする。 教師の手元のカードをシャッフリしながら、1枚取り出して見せる。 バリエーションをつけて、褒める。皆で拍手をする。	
まとめ	はい！どのグループも素敵にお話を再現できましたね。 今日は、皆がよく知っているお話の場面から、元のお話を探し当てました。じゃあ、本を読む時にどうしたら、その本の全体が見えてくる？ 子ども：〇〇 子ども：〇〇 子ども：〇〇, etc. そう。何人かの人達が言ってくれたように、ポイント、ポイントになる出来事を整理すると、お話の全体が見えてきますね。 じゃあ、整理した出来事を文章にしたものをなんて言うか知ってる？ 子ども：〇〇？ 子ども：〇〇？ 子ども：〇〇？ 色々あがっていますね。〇〇さん、なんて言った？ 子ども：〇〇 そう、整理した出来事を文章にしたものを、本の「あらすじ」と言います。 今日は、カードを使って、実は「あらすじ」を追いながら、物語を再現しました。もう一度、元のお話を確認したい人は、図書館に行って確認しましょう。うまく本が見つけれない人は、図書館の先生に聞くと、親切に教えてくださいます。	板書： 「ポイントになる出来事を整理すると、お話の全体が見える」と書く。 板書： 前に書いたものに↑をして「あらすじ」と書く。	10 分

	はい！これで、授業を終わります。グループごとにカードをまとめてください。同じ向きに揃えてよ。カードは4枚／5枚ちゃんとある？ じゃあ、代表の人が返せたところから休み時間にします。代表の人は、まとめたカードを持って来てください。		
--	---	--	--